

# 令和4年度 石岡市立杉並小学校グランドデザイン

## 本県の教育目標

- ・ひとりひとりの能力を開発し豊かな人間性をつちかう
- ・じょうぶな身体をつくりたくましい心を養う
- ・郷土を愛し 協力しあう心を育てる

## 【新】茨城県総合計画

**基本理念 『活力があり、県民が日本一幸せな県』**  
**Ⅲ「新しい人材育成」**  
 茨城県の未来をつくる「人財」を育て、日本一子どもを産み育てやすい県を目指す

- 政策11 次世代を担う「人財」
- 政策12 魅力ある教育環境
- 政策13 日本一、子どもを産み育てやすい県
- 政策14 学び・文化・スポーツ・遊びを楽しむ茨城
- 政策15 自分らしく輝ける社会

## 学校教育目標

よりよい自分を求めて、健やかに生きる子の育成

### 目指す児童像

- 進んで学習し粘り強く考える子
- 美しさに感動し思いやりのある子
- 明るく元気で進んで運動する子

### 目指す学校像

- 家庭・地域と連携・協働する学校
- 互いの良さを認め合い、自分の良さを発揮できる学校
- 明るく温かみがあり、信頼される学校

### 目指す教師像

- 子どもの成長に寄り添い粘り強く取り組む教師
- 美しさを求め人間性豊かで愛情のある教師
- 明るく積極的に活気に満ちた教師

## 学校経営目標

誰もが“楽しさ”を実感できる学校づくり  
 —児童、保護者・地域、教職員にとっての“楽しさ”を追求する—  
 〈キーワード 仕掛けと巻き込み〉

## 基本目標

「ふるさとに学び 夢にはばたく 輝くひとづくりのまち」

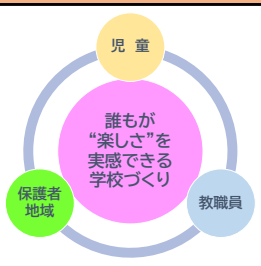
- 1 一人ひとりの能力の開発と豊かな人間性の涵養
- 2 教育施設等の充実と意欲に満ちた教育活動の推進
- 3 心の通い合う家庭と協働のまちづくりの推進
- 4 伝統ある市民文化の高揚と文化財の保護・活用
- 5 スポーツを通してたくましい心と体の育成

## 石岡市の学校教育目標

- 1 一人一人の学力の向上を図る
- 2 たくましい心と体の育成を図る
- 3 つよい意志と豊かな情操を育てる
- 4 郷土を愛し協力しあう心の育成を図る

## 石岡市学校教育指導の重点

- 1 確かな学力を育む教育
- 2 豊かな心を育む教育
- 3 健やかな体を育む教育
- 4 時代の変化やグローバル社会に対応できる教育
- 5 自立と社会参加に向けた特別支援教育



## ＜基本的な考え方＞

- 1 コロナ禍において、社会全体が不安感に包まれる中、学校の主体である児童が、杉並小学校で生活している間は、楽しい時間と場所を提供できる学校でありたい。様々な教育活動を通して、未来ある児童を育てるため、学校で児童が“楽しさ”を実感できることは、教育活動の必須条件だと考える。
- 2 学校の存在意義を考えたとき、保護者や地域の学校としての在り方も考慮しなくてはならない。保護者や地域の学校としての役割を考えれば、児童を通して、保護者や地域の方々に“楽しさ”を提供できる学校でありたいと考える。
- 3 教職員が元気でこそよい教育を提供できるし、「杉並小学校での仕事が楽しい!」「杉並小学校に勤務できてよかった!」と感じられるような学校であってこそ、杉並小学校の児童や保護者、地域の方々と“楽しさ”を共有できると考える。

# 誰もが“楽しさ”を実感できる学校づくり

## 保護者・地域が“楽しさ”を実感できる学校

### 1 わかる“楽しさ”

〈目標〉 社会に開かれた教育課程の確立

〈方策〉 ・市広報紙、各種たより、Webページ等による積極的な広報活動  
 ・地域の教育資源の掘り起こし

〈検証〉 ・学校評価アンケート  
 「学校からの情報発信の取り組みを理解している」:70%以上  
 ・学校評価アンケート  
 「子供の学校での様子を理解している」:80%以上

### 2 参加する“楽しさ”

〈目標〉 保護者・地域との連携協働体制の確立

〈方策〉 ・学校行事への参加、教育活動へのボランティアやゲストティーチャーとしての参加等の活性化  
 (コミュニティスクール構想の推進)

〈検証〉 ・学校評価アンケート  
 「適切に学校行事が設定されている」:80%以上  
 ・学校評価アンケート  
 「できる限り教育活動に協力している」:80%以上

## 児童が“楽しさ”を実感できる学校

### 1 学ぶ“楽しさ”

〈目標〉 基礎・基本の確実な定着と主体的・対話的で深い学びの実現

〈方策〉 ・1人1台端末の効果的な活用  
 ・ペア・グループ学習の深化

〈検証〉 ・児童アンケート  
 「学校での勉強が楽しい」:85%以上  
 ・学校評価アンケート  
 「学力診断テストにおける正答率昨年度比」:5%アップ

### 2 かかわる“楽しさ”

〈目標〉 居場所づくりと絆づくりの推進

〈方策〉 ・児童の安心感・自己存在感・充実感の高揚  
 ・児童の主体的・協働的な活動の推進

〈検証〉 ・児童及び学校評価アンケート  
 「友達と仲良く生活している」:85%以上

### 3 できる“楽しさ”

〈目標〉 自己肯定感の高揚

〈方策〉 ・すべての児童が活躍できる場の提供  
 ・児童のよさ(過程・貢献・努力・成長)の称賛

〈検証〉 ・児童アンケート  
 「日頃から頑張ったことがある」:85%以上  
 ・学校評価アンケート  
 「子どものよさを認め伸ばしている」:80%以上

## 教職員が“楽しさ”を実感できる学校

### 1 働く“楽しさ”

〈目標〉 ワークライフバランスの実現

〈方策〉 ・学校改善プロジェクトチームによる働き方改革の検証  
 ・会議時間の短縮  
 ・会議のペーパーレス化  
 ・PTAとの連携・協力の推進(コミュニティスクール構想の推進)  
 ・ICTの積極的な活用

〈検証〉 ・教職員アンケート  
 「杉並小では働き方改革が進んでいる」:80%以上  
 「時間外勤務月45時間以内100%達成月」:10月以上

### 2 つながる“楽しさ”

〈目標〉 関わるすべての人との良好な人間関係の構築

〈方策〉 ・情報交換のための場と時間の確保  
 ・児童と関わる時間の確保  
 ・保護者への積極的な情報提供の推進

〈検証〉 ・教職員アンケート  
 「職員間の人間関係を良好である」:80%以上  
 ・教職員アンケート  
 「風通しのよい職場環境である」:80%以上

